

研究課題名：動物言語学の創出と展開

～ 動物の会話を解する未来をつくる新領域 ～



すずき としたか

氏名：鈴木 俊貴

所属機関：京都大学

役職：特定助教

（個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野／生態学および環境学関連）

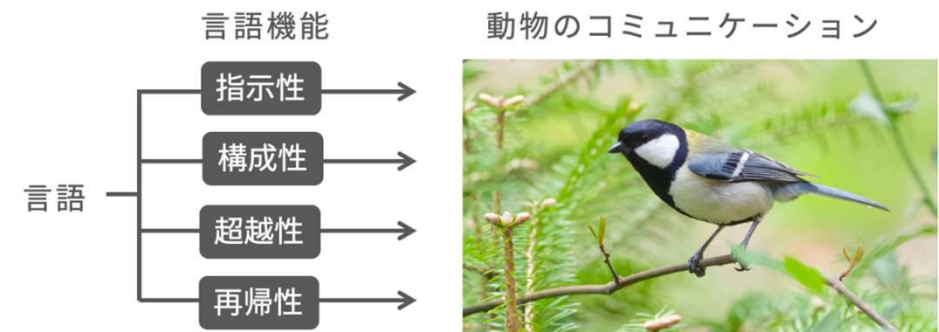
＜研究概要＞

言語の進化を解き明かすことは科学における大きな挑戦です。言語のように複雑なコミュニケーションはヒト以外の動物には見つかっていませんが、言語を構成する個々の特徴（言語機能）に着目すれば、動物にもその起源や共通点を見出すことができるはずです。そこで、本研究では、動物を対象に言語機能を探究する新たな学術領域（動物言語学）を創出し、言語進化の基本原則や認知基盤の解明、社会イノベーションへと展開します。

フェーズ1

動物言語学の創出

～ 言語学・認知科学・動物行動学の「知」の融合 ～



展開

フェーズ2 言語の進化原理の解明・社会イノベーション

＜略歴＞

2012年に立教大学大学院理学研究科にて博士後期課程を修了し、博士号（理学）を取得。その後、日本学術振興会特別研究員SPD（2013～2016年）や京都大学生態学研究センター機関研究員（2016～2018年）、東京大学教養学部学際科学科助教（2018～2019年）を経て、2019年より京都大学白眉センター特定助教。